



ピクタインダオン

(おきみがりにぼし)

第 27 号

発行日 2020年9月14日

発行人 矢代 しず

秋田市御野塩7-1-29-305

水
5

季節の結び目をほどく

雪解け水が

小走りにながれてくる

座り心地のよさそうな岩

登山靴をぬいで

とがった冷たい水に足をひたす

痛さにも慣れて

水にとけていく 娘とわたし

青い空には

七月の太陽が雲の峰を照らし

トンボの翅も光っている

仕切りのない山で感じる

ゆたかな沈黙

まるやかな平安

①

今晚

なに食べようかな？

豚ロース 甘酢生姜 筋子
ウインナー いぶりがっこ

わーい みんなもらい物だ!!

②

どこへ住んでも

水がついてまわる

雨もり 水もれ 大洪水

やっぱり

わたしは水のシジン!

③

垂乳根の矢代でも

ウン十年ぶりに

元の位置に

魔法のブラ!!

④

70歳になると

体が変わるといふ

そういえば

先輩たちは痩せてきた

つぎは

わたしの番だ!

⑤ 女医の妻が夫に言った

肥り気味よ！

うん

食べ過ぎよ！

うん

医者なのに飲み過ぎよ！

その言葉 そっくりそのままお返しするよ!!

⑥

レイは2年

孫は 1年（高校1年）

⑦

スーパードで見かけた

35キロ位の

ノーマークの

ピンクのポロシャツを着た

めんこいおばあちゃん

わたしも なれるかな？

⑧

右耳がイタイ！

なんでだろう？

あっ 右耳を下にして寝たせいだ

石頭を一身に受けとめた

耳よ

ご苦労さま

【詩の勉強会】

去る、九月六日（日）に、「第七回 ピッタの会」勉強会を、あきた文学資料館において、開催した。

講師には保坂英世氏をお迎えした。演題は、「私的 詩への取り組み方」。

参加者は講師を入れて十三名。内、詩人協会以外の方は五名（はじめての参加者二名を含む）。

コロナ禍の影響を受け、五カ月遅れの開催であった。三密を回避して、長テーブルに一名の着席。広い間隔ではあったものの、内容の濃い勉強会であった。

- ① 講師紹介
- ② 講演
- ③ 自己紹介
- ④ 朗読
- ⑤ 質疑応答

●講演内容（レジュメより）

☆私的 詩への取り組み方

1. 目標を達成するために
2. 「詩に触れ詩を書き始める若い人々へ」

前原正治

3. 言葉を熟成する

① 自分のための辞書

② 表現や比喩の例

4. 推敲のためのヒント1 「ブレバト」より
5. 推敲のためのヒント2

壱岐梢 「新川和江の世界」

『詩と思想』より

6. 作風の変化

●感想より

・詩人協会には入っていますが、勉強する会には入っていないので、頂いた資料とても参考になります。推敲の為のヒント、あとでゆっくり見直してみたいです。

・ゴルフの話はわからなかったですが、後半は保坂さんの詩作の秘策にせまるお話が聞けて、参考にさせていただきます。

・保坂英世先生が定年後、65歳から「詩作」を始め、ゴルフ上達の方法論を「詩作」に応用した経緯を知り、ためになった。「あまり、感傷や空想で詩は出来るものでないので、ものをよく見ないといけない」と鋭い指摘。また、新川和江の言葉など目的を射ていた。単なる思いつきで詩作しているのでなく、土台がしっかり

している方だ、と重量感のある方法技術を思い知らされ、刺激を受けた。本格派の詩人であられると思った。

・「詩」について、ゆっくり考える時間になりました。これからもよい講師をよろしく願います。

・保坂さんのご自身の理想とする詩作の為に様々なご努力が理解でき、参考になりました。いつかこの会で、1篇の詩ができ上がるまでの過程を解説するというものを実現できれば、と思っております。

・ゴルフはよくわかりませんが、体力をつけ練習を積み、失敗もし、時にうまくいったり：は、詩と同じと思いました。ことばは共有財産とはいえ、私の中でぼろぼろになったことばも生き返らせなければ…。ことばを集めておくのも大

切だと、改めて思いました。学ぶ割に進歩がありません。どうしましょう。

・しばらく振りで皆様にお会い出来て嬉しかったです。前原正治氏の「自己の現実とは自分が作り上げていくものです。」共感します。「沈黙」、「水門」は私の好きな詩でした。保坂様の自分をみつめ、日々の詩への創作の努力をすばらしいと思えました。今日は有難うございました。最近の「くつ」がとても良かったです。

・本日は参加の機会を頂き、ありがとうございます。初めての参加で、いつもこの様な進め方なのかと思いました。説明用の添付資料については、大変参考になります。また、『かがり火』の詩集は、ゆつくり読ませてもらいます。

・保坂先生は65才から詩を始められたとの事で、私も身近に感じて楽しかったです。詩への取り

組み方、ゴルフに例えてのお話、時間がある時にメモをしておいて、これから少しずつ書いてみようかと思っています。これからもどうぞよろしくお願い致します。

・詩の勉強会と聞いていたので個別に実践的に詩作活動をイメージしていたのだが、期待していたものと違っていた。

●開催日のアンケートより

- ① 平日 4名
 - ② 土日祝日 5名
 - ③ 無記名 1名
- ・講師のご都合を一番に開催日を決定することになると思うが、時間は午後1時からがいい、という意見もあった。遠方からの参加者を考慮すると、午後からの開催がベストではないかと考えている。



【あとがき】

「ピツタの会」で知り合った山脇昇氏から、お手紙を頂戴した。時々、自作品も送ってくれていた。前号に掲載できなかつたので、ここに紹介したい。

山脇氏は、ヘサラリーマン生活の最後の区切りを秋田で暮らせたことは、望外の喜びです。せっかく秋田の現代詩の一端を知ることが出来るようになり始めた時に、秋田を去ることは残念です。と、結んでいた。

文面は詩と真摯に向き合う姿勢や秋田の想いにあふれていた。これからも詩とつながっていてほしいと願っている。

秋田

山脇昇

秋田の空を輝かせよ
月を敬い、光を浴び
河を漕ぐ一艘の船に
乗り込んだ若人を輝く未来へ連れていけ

(2020年5月25日)

秋田の空は風の向こう側にある

海の風は文化を育み

山の風は季節を告げる

海の民は風の向こう側にあこがれ、漕ぎだし

山の民は風を越える道を作り

海山の道の数だけ弔う人の数があつた

河は海人と山人を繋ぐ歴史の道である

河は溢れ、叫び、踊り

河は堕ちていく

石を積む

数多の風よ

大切なもの

山脇 昇

私はいつの間にか他人を生きる恍惚に浸る

こうして私は私を捨てる

私は大切なあなたを失う

大切なものは壊れやすく、脆い

だから丁寧にあしむ生きる力と少しの勇気が必要になる

(2019年6月17日)

大切なものは壊れやすく、脆い
だから丁寧に愛しむことが大事だ
大切なことは見えないことが多い
だから喪つても気が付かないことがある

私の大切はあなたの大切ではないかもしれない
だから私はあなたを失うことがある

裏切りや拒絶や誹謗や中傷は

大切なものを失った懺悔や後悔や絶望や諦めが

行き場を失い彷徨う どれどろとした

私を虚飾する大切な仮面が変わる

仮面は大切な私になる

*

NHKハート展2020

第1回「障害のある人たちの詩の世界」より

何気につけたテレビ。そのユーモラスな詩に、
言葉に惹きつけられた。どのような背景から生ま
れた作品なのか考えるのも、また楽しい。

めんどくさい

熊本県 吉川知里 (18)

大人って

めんどくさい

こどもって

めんどくさい

にんげんって めんどくさいな

オノマトペ

新潟県 丸山勇希 (17)

オノマトペが好きだ

オノマトペという

言葉が好きだ

オノマトペの

「ペー」が一番好きだ
でも

ペーちゃんと呼ばれたくない

オノちゃんもダメ

マトちゃんもダメ

ぼくのは

オノマトペと呼んでほしい

オノマトペー

*

『詩と思想』2020年8月号の詩誌評「個人誌という思想の器」に、「ピツタインダウン」25を取り上げていただいた。白島真氏に感謝申し上げます。

どこかで、だれかが見ていてくれる。今後力まず急がず、号を積み上げていきたい。

★「ピツタインダウン」25（秋田市・矢代レイ）

ミャンマー語でおきあがりこぼしを意味するらしい（検索）。渡辺芳勝氏の絵画「碧の街」に触発されたという「水2」が印象的だった。冒頭と最後を引用する。

碧の家は／ふかい海の底にあった／
豊潤な／静寂のなかを／大きな口の深
海魚が／ゆったりと／泳いでいる（略）
時折／わたしも／いのちの深層をなが
れる／水の／碧の家に／行きたくなる
ことがある

*

秋田県現代詩人協会主催「秋田の詩祭」の詩原稿募集（コロナを題材とした詩の朗読を予定）の案内が届いた。会員から広く作品を募っている。詩人協会もご多分にもれず新型コロナウイルスの影響をもろに受け、今年の行事はおおむね中止。例年秋に開催の「秋田の詩祭」は、十一月に延期。縮小しての開催となるようだ。

「秋田の詩人がコロナにどう立ち向かうのか」。

会員の胸の内を知ることにもなり興味深い。

私生活でもコロナ禍を過剰に恐れることなく、新しい生活のかたちを模索していきたい。

【ご案内】

矢代レイ 詩展 — 詩とわたし —

日時 令和3年1月4日（月）～1月29日（金）

時間 9時～15時 無料

場所 秋田銀行本店 ロビー

秋田市山王3・2・1

なお、土曜日、日曜日、祭日はお休みです。

お問い合わせは、矢代レイまで。

☎090・1935・1180

